

組織の拡大・戦争法案反対の闘いに全力

= 全国大会・東日本本部大会で取り組みを確認 =



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2015.9.10
第1485号

拡大キャッチコピー
「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入ってます」

第84回定期全国大会が7月30日・31日に越後湯沢・湯沢グランドホテルで第29回東日本本部定期大会が8月24日・25日にラフレ・さいたまでそれぞれ開催され、組織の拡大や戦争法案反対、労働条件の改善などに全力で闘いを展開する方針を確立した。

組織拡大の大切さを痛感

全国大会は、田中副委員長の開会あいさつを受け、議長には盛岡地本の沢田光広代議士を副議長には近畿地本の森田代議士をそれぞれ選出し議事が進められた。

沢田議長は、「JRグループに働くすべての労働者の組織化を視野に入れ拡大していくことが前進に繋がる。安全保障法案をはじめ自公連立政権の国民を愚弄する政策を許さず安倍政権退陣に向けた運動の構築が求められる。根拠を入れて闘うことを決意し会う大会にしたい」とあいさつ。本部を代表し高野委員長は、「安倍内閣が成立を目指す戦争法案を廃案に追い込み、労働



「盛岡の現状と取り組みを発言する菊池要悦代議員」

第4回 地方本部 ボウリング大会

2015年9月26日(土)
ラウンドワンスタジアム盛岡店

当面の主な日程

- 9月12日(盛岡) ストップ！戦争法案9・12 岩手県民集会
- 9月12日・13日(盛岡) 地方本部「第9回組織対策会議」
- 9月14日(盛岡) 第20回日朝友好国交正常化 岩手県民会議追悼慰霊の式
- 9月19日(盛岡) 地方本部「主務職交流会」
- 9月24日(盛岡) 第13回地方本部執行委員会
- 9月24日(盛岡) 第2回地方本部組織検討委員会
- 9月26日(盛岡) 第4回地方本部ボウリング大会
- 10月9日・10日(盛岡) 第71回定期地方大会

職場実態の中から闘いを

東日本大会代議員 小泉 正直

私小泉は、北海道新幹線開業問題と地域共闘について経過報告の質疑の中で発言することができました。

終了や来年新幹線開業で在来の特急列車廃止に伴い青森地区で働く多くの仲間から職場の縮小・集約や配転など不安の声が大きくなっている。函館地区の運転職場3か所の業



「青森支部の状況を発言する小泉正直代議員」

務内容での個人面談が行われている。青森支部は、これに対して今年4月に北海道新幹線開業対策会議を設置し新幹線開業に因連した安心して働き続けられる職場作りを地本・エリアと一緒に取り組みたい。青森県は核施設が集中し、米軍三沢基地をはじめ、陸海、空自衛隊基地がある。このような状況下で護憲、脱原発、反基地の運動の中心を担っているのが青森県平和推進労働組合です。私たちはこれまで、平和と民主主義を守り、安心して生き、働き続けられる職場や社会の確立に向け、奮闘してきました。地域の闘いに積極的に参加し、これまでの支援に運動で返していきたい」という内容です。

第71回定期地方大会 代議員38人が決定

10月9日・10日大会開催

第70回定期地方大会が10月9日・10日に盛岡市つなぎ温泉・愛真館で開催される。各分会選出の代議員38人が別記の通り決定された。なお大会には特別代議員として支部・地区協議会・職能別協議会代表の各1人も参加する予定となっている。

- 【盛岡支部】23人
▽盛岡駅連合分会
近藤 信博(平石駅)
松島 義文(盛岡駅)
工藤 剛(TSS)
▽盛岡運輸区分会
細川 勝範(盛岡運輸区)
伊藤 淳(盛岡運輸区)
▽盛岡施設分会
中堤 聡司(東北交通機械)
- 三浦 市朗(盛岡保技セ)
中野 英彦(盛岡保技セ)
▽盛岡運輸分会
畠山 信吾(盛岡幹車セ)
盛岡電気分会
八重樫俊昭(盛岡信技セ)
盛岡貨物分会
石川 博勝(盛岡総鉄)
▽一戸地域分会
佐藤 弦悦(IGR)
▽花輪線地域分会
藤島 優悦(盛保七花派)
北上市連合分会
中村 弘之(北上駅)
竹内 俊博(北上駅)
▽北上工務分会
八重樫定雄(北上保技セ)
畠山 孝(北上保技セ)
佐々木喜一(北幹保技セ)
- ▽一関運輸分会
吉田 一久(TSS)
▽一関工務分会
千葉 博季(一関保技セ)
▽気仙沼地域分会
佐々木正弘(一関保七気派)
釜石地域分会
森田 薫(北保七釜派)
▽宮古地域分会
留場 義継(川内駅)
- 【青森支部】15人
▽青森駅連合分会
滝浪 昇(青森駅)
小原 典昭(青森駅)
▽青森運輸区分会
山内 光弘(青森運輸区)
▽青森施設分会
成田 芳隆(青い森鉄道)
- 工藤 達二(青森保技セ)
▽青森運輸分会
伊勢谷尚孝(青森車両セ)
関 孝(青森車両セ)
▽青森電気分会
田中 聡(青森電メセ)
▽青森貨物分会
田村 公治(東青森駅)
▽三沢野辺地域分会
大木 剛(青保七野派)
▽大湊地域分会
岩崎 毅(大湊駅)
▽八戸運輸分会
石田 義明(八戸駅)
▽八戸工務分会
松橋 隆(東洋機械)
小笠原茂俊(八幹保技セ)
▽八戸貨物分会
野田 茂志(八戸臨海鉄)

連日30度を超える暑い日から解放され虫たちが、心地良い音色を奏でている。めっきり秋めいてきた▼70年前の7月末暑い夜、米軍による青森空襲があった。多くの市民が空襲の熱風から逃れようと川を求め犠牲となった。戦争の悲惨さを経験した方々は、「二度と戦争は、いやだ」戦争は、憎しみ・悲しみだけで何も残らない」と口々に語られる▼一方、安倍首相が発表した「戦後70年談話」は、国会答弁と同じでただ長く、何が言いたいのか明確になっていない。「侵略」「反省」「お詫び」の言葉が使われたが真意とは思えない。「先の大戦は、アジア解放のための自衛自衛の戦争だった」と歴史を嘘で塗り固めようと見え隠れしている。戦争責任を否定し歴史を歪曲し戦争の悲惨さを覆い隠し人々を再び戦場へ送り込もうとしている▼「戦争法(安保法案)」を廃案にするため日本各地に於いて「憲法9条壊すな」「集団的自衛権行使は、憲法違反だ」と年齢・性別を超えて集会が開催されている。「戦争反対」という多くの国民の声を安倍首相は無視し数の力で可決を企み、いつか来た道を辿ろうとしている▼私たちは、広島・長崎で原爆の恐ろしさを経験した。福島第一原発事故では放射能におびえながらの不由な生活を余儀なくされている多くの方がいる。今、日本政府がしなければならぬのは、東日本大震災復興のスピートを早め、「戦争」しない「原発」いらぬ、経済格差をなくし平和で安心して生活出来る世の中である。労働組合として「戦争法案」撤回するまで頑張ろう(秋)

長崎大会 戦争へ歩んだ過ちを繰り返すな 平和な世界の実現を仲間と共に

地方本部執行委員 及川 孝

被爆70周年原水爆禁止世界大会・長崎大会は8月7日から9日まで長崎市内を中心で開催され平和環境若手県センターから小中学生を含む24人で参加してきま

した。広島に原爆が投下されたわずか3日後の1945年8月9日、第2の原爆は長崎に投下されました。原爆資料館では、4千度にもなる熱風は一瞬で人々を炭化

た若手県代表団の交流会では参加者一人一人から自己紹介を受け交流を深めました。高校生たちの中には、地震や大津波を経験した沿岸地区からも参加されていました。高校生平和大使の2人も自ら震災を経験した中で、平和運動にも積極的に参加している

8月9日11時2分、爆心地公園では長崎の原爆投下時間にあわせサイレンが鳴り、参加者全員で黙とうを捧げ、二度と悲劇を繰り返さないことを誓いました。日本は世界で唯一の被爆国として平和憲法のもと、戦争をせず平和を訴えてきました。しかし、日本は再び戦争へ歩んだ過ちを繰り返そうとしています。長崎大会の貴重な経験を活かして、共闘する仲間や高校生平和大使と交流を通じ、核兵器も原爆もない平和な世界の実現に向け、平和運動に取り組みしていきたいと思

原水爆禁止世界大会・広島大会(8月4日〜6日)に若手県から18人が参加しました。「原爆を語り継ぐ会」の白石多美子さんの体験談を聞き、広島原爆病院を訪ね、平和公園内の「原爆の子の像」への折鶴の供え、平和行進では、大会の開催総会が行われる広島県営体育館まで各県代表団の先頭で行進、分科会への参加など、炎天下の限られた時間でしたが、精力的に行動してきました。

中でも、「病院に行く途中、飛行機の音を聞いた私は、民家の軒先に隠れました。少ししてものすごい爆風に襲われ、気が付いたときは柱などの下敷きになっており、真暗でも何も見えませんでした。明るくなると急いで学校に戻ると、熱で皮膚が溶け、爪の重さで垂れ下がっている同級生・下級生が続々と帰ってきま

被爆70周年 原水爆禁止世界大会 <8/1・8/4~8/9>

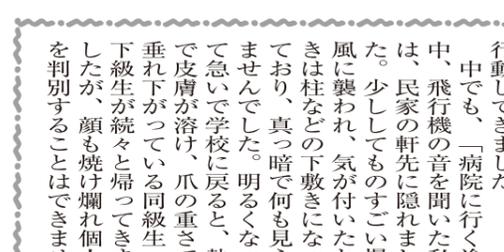


福島大会にも米国・韓国・中国から海外ゲスト4人が参加しデモ行進/福島

ノーモア 広島・長崎・福島



長崎原爆殉教者の霊碑を訪れ折鶴を捧げ、集合写真の参加者/若手県代表団



第18代高校生平和大使の2人を含め若手からも高校生9人も参加した/長崎大会

福島大会 今も収束できない福島原発事故 被害者と寄り添う反対運動を

盛岡地区協委員長 岩澤 栄光

3・11の津波からおおよそ4年5か月、爆発した東京電力福島第一原発からの距離40kmの地で行われた8月1日の原水爆禁止世界大会・福島大会に、平和環境若手県センター加盟団体から15

人(男4人)が県交通の貸し切りバスで参加した。午前7時45分、盛岡駅西口マリオス前始発で花巻、北上、水沢インターからも参加者が乗車、会場のいわき市たいら中央公園を目指し5時間余り

に警鐘を鳴らし、原発事故から約4年5か月経過後もなお収束できない現実を見つめ、政府の意図的な事故風化政策を許さず、被害者に寄り添うべく私たちの運動のあり方や脱原発にむけた行動を確認する重要な場であると訴えた。大会基調は、1965年2月1日、「あらゆる国の核実験に反対する」ことを基礎に「原水禁」が結成され、今年50年を迎えたこと。しかし平

和利用などの幻想の下、スリ1マイル島、チェルノブイリ、フクシマをはじめ多くの核の惨劇を引き起こし被害者を生みだしてきたこと。あらためて核と人類は共存できないとする主張を世界に強く訴えていく必要性などが提起された。海外ゲストは米国、韓国、広州事件を経験した中国からの4人、代表としてドイツ緑の党国会議員であるヘーベル・ハインさん(女性)からは、

原爆は安全ではないこと。日本が現在、原爆ゼロである事実を称賛し、原爆をやめ再生可能エネルギーに転換すれば雇用の拡大も可能との話がされた。高校生平和大使の女子高生は「微力だが無力ではない」と合言葉に活動していると報告した。集会終了後、約40分整然とデモ行進を行い帰路に就いた。車中、平和環境若手県センタ

1の佐々木力原水禁運動部長が「来年の参院選から選挙権が18歳以上になる」「子供たちと日本の将来について会話をする機会を増やそう」「水分補給しながら疲れを癒してください」とあいさつ。

車窓から西空に目を遣れば、赤々と燃ながら沈もうとする太陽が見えた。私たちに、絶対に諦めてはならないと示唆するように。

「がん」の保障 <<新生きるためのがん保険Days>>

保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として 100万円
	診断給付金	上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき	治療を受けた月ごと	10万円 (給付倍率2倍) (更新後の保険期間を含め通算60万円まで)
(上皮内新生物は対象外) 抗がん剤治療給付金	乳がん・前立腺がんのホルモン療法	5万円 (給付倍率1倍)
※	治療を受けた月ごと	
※Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。		
がん専門相談サービス プレミアサポート	訪問面談サービスと専門医紹介	(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在) 新生きるためのがん保険Days Aプラン

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)				
	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。 <募集代理店> アベニール株式会社 〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F TEL: 03-3437-6810 FAX: 03-3437-6822 <引受保険会社> アフラック 東京第二法人営業部 〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル 当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95